

第7章

進捗管理と評価

1 進捗管理

本計画に実効性を持たせるために、区民アンケートや食育に関連する区の各計画での評価などを用いて現状を把握します。

そして、「すみだ食育推進会議」及び「墨田区庁内食育推進会議」において、食育推進の方向性や計画の進行状況などについて、総合的な検討・評価を行います。

2 評価指標

食育の取組の成果はすぐに現れるものではなく、ある程度の期間を見据え、量と質の両面から評価を行うとともに、新たな指標を検討することも必要です。

評価指標は、基本目標を柱として量的及び質的な項目を設定し、目標の達成状況を把握します。

そして、国の「第3次食育推進基本計画」や「墨田区基本計画」、「すみだ健康づくり総合計画」など食育に関連する計画・白書の状況なども踏まえ、評価項目の見直しや新たな項目などについて検討・整理します。

また、区内地域での特徴的な活動事例についても評価を行います。

基本目標

(1) 定量的な評価 (量的な評価)

- ・ 区の取組
(進捗状況や達成度など)
- ・ 区民の意識・取組
(アンケート調査など)

* 設定項目：15 項目



ひと



まち



こりゅう



あんしん



きょうどう

(2) 定性的な評価 (質的な評価)

- ・ 区民が大切にしたいこと
(インタビュー調査など)

* 設定項目：6 項目

(3) 特徴的な活動事例の評価 (ヒアリング・アンケート調査)






(1) 定量的な評価

区の実施状況など（進捗状況や達成度など）について定量的に評価を行います。

区民の意識や取組については、区で総合的に実施しているアンケート調査や各計画に基づく調査などによって評価を行います。

また、区の食に関する課題と国の「第3次食育推進基本計画」の目標項目を考慮し、前計画における定量評価項目を検討・見直しのうえ、調査を行います。

定量的な評価項目：15項目

基本目標	評価項目	現状値	目標値
 ひと	① 食育に関心がある区民の割合	72.4%	80.0%
	② 食育のボランティア活動に参加したいと思う区民の割合	28.9%	30.0%
	③ よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心のある区民の割合	73.2%	増加
	④ 一日1食以上、主食・主菜・副菜をそろえたバランスのよい食事をとる区民の割合	77.4%	85.0%
	⑤ 食事をする時は塩分を控えめにしている区民の割合	29.6%	35.0%
 まち	⑥ すみだモダン ブランド認証事業（飲食店メニュー部門）に認証された飲食店メニューの数	45件	増加
	⑦ 学校給食における地場（東京都）産物を使用する学校の数 ・小学校（25校） ・中学校（11校）	25校 11校	継続 継続
	⑧ 食品ロス削減のために何らかの行動をしている区民の割合	* 調査追加項目	
 こうりゆう	⑨ 朝食を家族と一緒に食べる中学生の割合	54.2%	60.0%
	⑩ 夕食を家族と一緒に食べる中学生の割合	85.3%	90.0%
	⑪ 家庭や地域などで協食したいと思う人が協食する割合	* 調査追加項目	
 あんしん	⑫ 家庭で災害時の備えができていない区民の割合	52.2%	65.0%
	⑬ 帰宅時と食事前どちらも手を洗っている区民の割合	46.3%	80.0%
 きょうどう	⑭ 学校の活動以外で農業・漁業体験をした中学生の割合 ・農業体験 ・漁業体験	32.0% 36.6%	35.0% 40.0%
	⑮ 食育の取組に関わる区民、地域団体、事業者、企業などの数	179件	190件

上記データの出所

①・②・③・④・・・すみだ健康づくり総合計画 2016（平成28）年3月

⑤・・・墨田区住民意識調査 2016（平成28）年

⑥・⑦・⑭・⑮・・・所管調査データ

⑨・⑩・・・「健康」に関する区民アンケート調査 2015（平成27）年3月

⑫・⑬・・・墨田区基本計画 2016（平成28）年







(2) 定性的な評価

「食」を通じた取組について、定性的な面からも評価を行います。

基本目標に沿って評価項目を設定し、食育の取組が進むことで、どのように広がり、深まったのかを食育関連イベントなどでのアンケート調査を通して評価します。アンケートは、すべての項目について「なぜ」と問いかけ自由記載による意見を把握し、それらの傾向や変化、特徴的な意見などを整理・考察します。

さらに、基本理念にある「手間かけて」の考えに基づき、食育活動を進めていく際のキーワードについても調査を行い、「すみだらしい食育文化を育むまちづくり」の進捗状況を把握するよう努めます。

定性的な評価項目：6項目

基本目標	評価項目
 ひと	食で「ひと」が育まれているかを把握する指標 (例) 食について生涯を通じて学ぶことは、なぜ大切だと思いますか。
 まち	食で「まち」が育まれているかを把握する指標 (例) 「すみだの食」に誇りがもてることは、なぜ大切だと思いますか。
 こりゅう	食で「交流」が育まれているかを把握する指標 (例) 多様な人たちと一緒にごはんを食べることは、なぜ大切だと思いますか。
 あんしん	食で「安心」が育まれているかを把握する指標 (例) 安心して食べ物が手に入ることは、なぜ大切だと思いますか。
 きょうどう	食で「協働」が育まれているかを把握する指標 (例) 様々な人と一緒に食育に取り組むことは、なぜ大切だと思いますか。
基本理念	評価項目
 手間 かけて	「すみだらしい食育文化」が育まれているかを把握する指標 (例) 「手間かけて」食育に取り組むことは、なぜ大切だと思いますか。

(3) 特徴的な活動事例の評価

本計画の実現のためには、区民が主体となって多様な関係者とともに協働で推進し、様々な取組を実践していくことが重要となります。

個別に行われていた活動が協働の活動へと発展した特徴的な活動事例を収集・整理し、活動の受け手と担い手の両方の視点からヒアリング調査やアンケート調査などを実施し、評価を行います。

